

山伏平コース

里山の風景に癒されながら、のんびりと歩きたい



アクセス

S スタート 箱根登山バス♀「地蔵堂」
伊豆箱根鉄道大雄山線「大雄山駅」(空閑本)から約35分

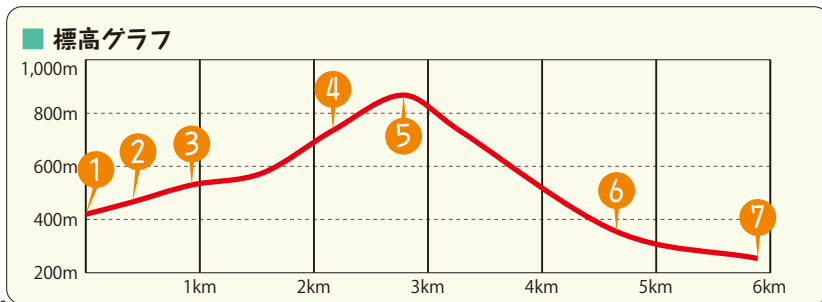
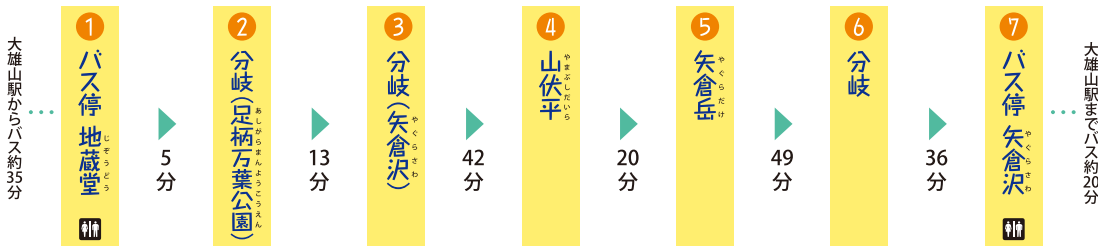
G ゴール 箱根登山バス♀「矢倉沢」
伊豆箱根鉄道大雄山線「大雄山駅」(空閑本)まで約20分

※バスの本数が少ないので事前にご確認ください。
※コース詳細は南足柄市ホームページをご参照ください。
<http://www.city.minamishigara.kanagawa.jp/kankou/>

歩行距離	歩行時間	消費カロリー
5.9km	2時間45分	687kcal
高低差	歩数	
617.2m	7,712歩	

コースの魅力

- 【花木】ぎる菊(11月)、金太郎大もみじ(11月頃) 【景観】矢倉岳から眺める富士山・足柄平野・相模湾、矢倉沢の里山
- 【歴史】矢倉明神跡(足柄神社)、地蔵堂



■ コースの概要
スタートはハイキングコースの定番起点「地蔵堂」。「山伏平」を過ぎると徐々に展望が開け、足元を季節ごとの山野草が楽しませてくれます。「矢倉岳」の山頂はなだらかな草原で、ゆっくりとお弁当を食べて過ごすことができます。ゴールは里山の風景が懐かしい「矢倉沢」。秋には「ぎる菊」が咲き揃い、これを目当てに訪れる人も多い場所です。

万葉集と足柄には縁が…



足柄万葉公園

箱根や足柄平野、相模湾が見渡せる眺望のよい公園。市民や観光客が自然の中で、文化的教養の向上を図ることを目的に開設されました。足柄地方を詠んだ歌が万葉集に多いことでもわかるように、風光明媚な土地であり、特に、足柄城址から眺める富士山は手に取るように大きく、感動します。

※歩行距離と歩行時間は、南足柄市のデータを参照。 ※高低差、標高グラフは、国土地理院の地図データを参照。消費カロリー、歩数は、「成人男性：身長170cm、体重68kg」をモデルに計算。(元となる標高データの精度や計算方法による誤差が含まれています)。 ※各数値は、あくまで目安であり、年齢や体格、歩くスピードなどにより大きく変わることがあります。

紅葉の季節に立ち寄りた



金太郎大もみじ

地蔵堂のすぐ近く、足柄峠への分岐となる県道沿いに立つ、大きなもみじの木です。高さは約20m、太さは1.3mもあり、「金太郎大もみじ」と呼ばれています。毎年11月の見頃には多くの人々が訪れ、様々な角度からもみじを眺める姿が見られます。少しずつ色どりが変わるもみじをお楽しみに。

※掲載情報は、令和2年2月現在のものです。



ウォーキングMAP



4 山伏平
清水越えとも呼ばれており、各コースの分岐点になります。

富士山
ビュースポット！

ココの急坂は
滑りやすいので
注意！！



5 矢倉岳
お椀をふせたような特徴的な山容をしており、足柄平野から足柄山地の山々を眺めると、ひととき目立ちます。初心者や家族向けの山として人気があります。

ジオサイトって？
箱根火山を中心とした地域の自然や歴史、文化、食などを大地とのつながりで楽しむ「箱根ジオパーク」の見どころです。

- ルールとアドバイス
- 1 ゴミは必ず持ち帰りましょう
 - 2 植物・鳥・動物・虫などの採取・捕獲は絶対にやめましょう
 - 3 自分に合った歩きやすい靴をはきましょう
 - 4 水分の補給をこまめにしましょう
 - 5 日没までに下山できる余裕のある計画にしましょう
 - 6 山の天気は急変するので、レインウェアを持参しましょう



スタート地点の地蔵堂

金太郎の「ふるさと」をご紹介します！



夕日の滝
夕日に映えるその美しさから付けられたとも言われている滝。酒匂川の支流内川にかかる落差23m、幅5mの滝で、金太郎が産湯につかったと伝えられています。



金太郎の遊び石
金太郎生家跡近くにある大きな石。「たいこ石」「かぶと石」など、金太郎が動物たちと仲良く遊んだと伝えられこの石を使って相撲の稽古をしたともいわれています。

坂田金時
金太郎は源頼光の家来になって「坂田金時」と改名。頼光四天王の一人として、大江山の酒吞童子をはじめとする妖怪退治に活躍したとされています。足柄峠と金時山の中腹に位置する地蔵堂から少し入った所に生家跡があります。



南足柄市郷土資料館所蔵